

ダイヤモンド就活ナビ2021 就職モニターレポート12月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2021年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 538名
- ◆調査期間 2019年11月30日（土）～2019年12月11日（水）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	理系
432名 (80.3%)	106名 (19.7%)

【回答の多かった学生】

早稲田大学、立教大学、中央大学、
明治大学、法政大学、慶応義塾大学、
関西学院大学、同志社大学、
大阪大学、東京理科大学、立命館大学、
日本大学、関西大学、首都大学東京、
上智大学、横浜国立大学、
東京外国語大学、青山学院大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	7	1.3%
東北エリア	1	0.2%
関東エリア	341	63.4%
甲信越エリア	0	0.0%
東海・北陸エリア	6	1.1%
関西エリア	175	32.5%
中・四圏エリア	7	1.3%
九州・沖縄エリア	1	0.2%
合計	538	100.0%

◆TOPICS◆

<インターンシップ参加状況>

インターンシップ参加率は78.4%、昨年比+2.3ポイント
参加理由は「就活に有利だと思った」「志望業界だった」が上位2位で過半数に

<インターンシップ選考状況>

インターンシップ参加の選考経験者は76.2%、昨年比+9.5ポイント

<インターンシップ参加社数、参加日数>

インターンシップ参加社数は3.45社で昨年比+0.32社。
5社以上参加者が4割以上、参加日数は「1日」「半日」が半数以上、短期間開催参加が多い

<就職活動観>

「インターンシップに参加した企業へ応募する」回答学生約9割。
「インターンシップに参加した企業の志望度が上がった」学生は昨年比+3.3ポイント

<選考状況>

12月時点で「企業の採用選考に進んでいる」学生は20.5%、選考の進捗状況は「エントリーシート提出」「個別企業のセミナー・説明会参加」「筆記・適性テスト」が半数以上

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

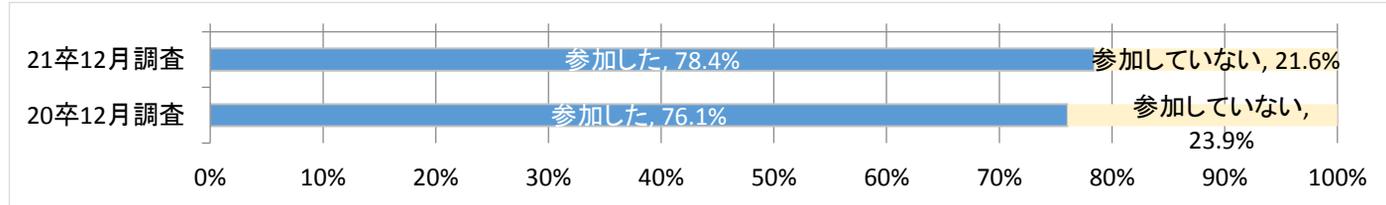
経営企画室

TEL : 03-5319-2450

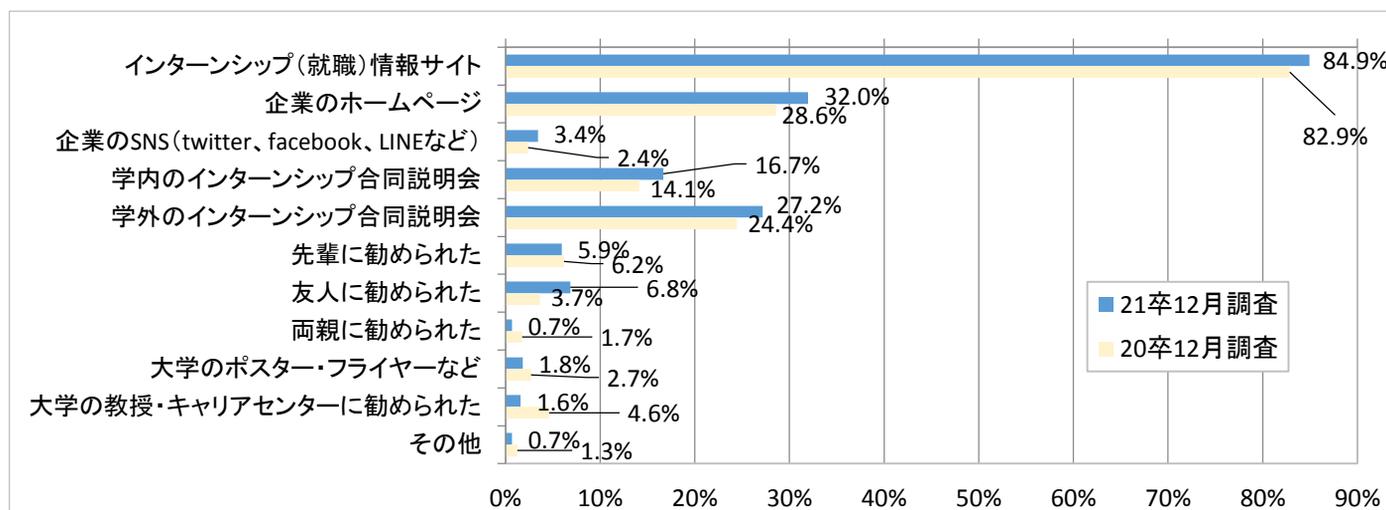
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

インターンシップ参加状況

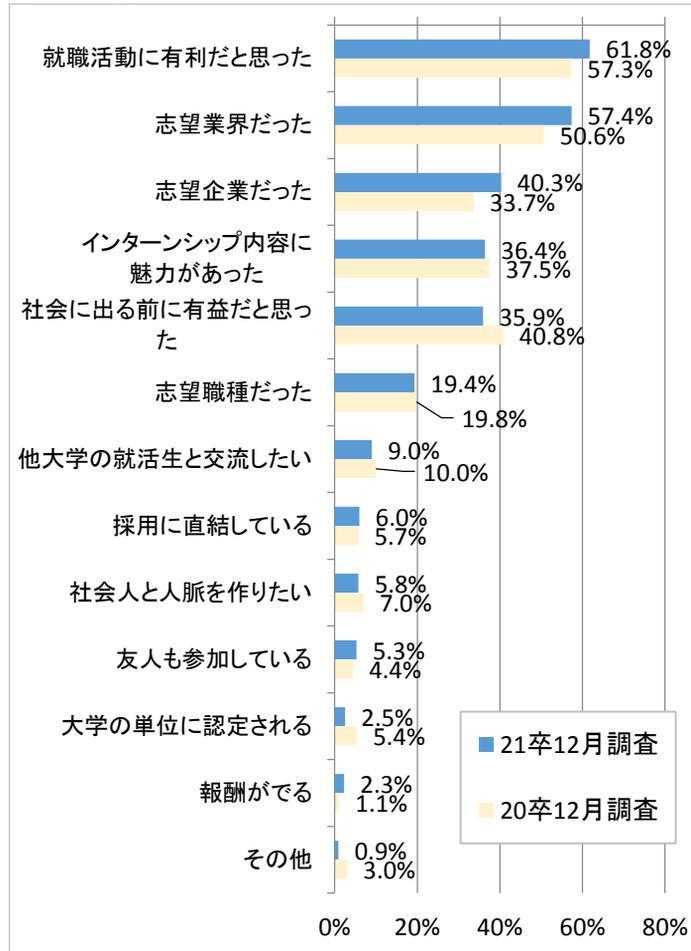
◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



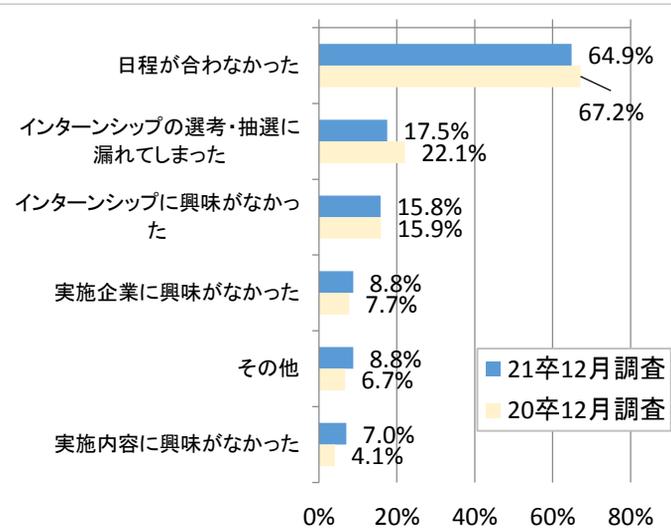
◆参加のきっかけとなったものをお答えください。(複数回答)



◆インターンシップに参加した理由は何ですか？(複数回答)



◆インターンシップに参加していない理由は何ですか？(複数回答)



インターンシップ参加率は78.4% 参加理由は「就活に有利」「志望業界」が上位2位

インターンシップに「参加した」学生は昨年比2.3ポイント増加し78.4%と8割に迫った。

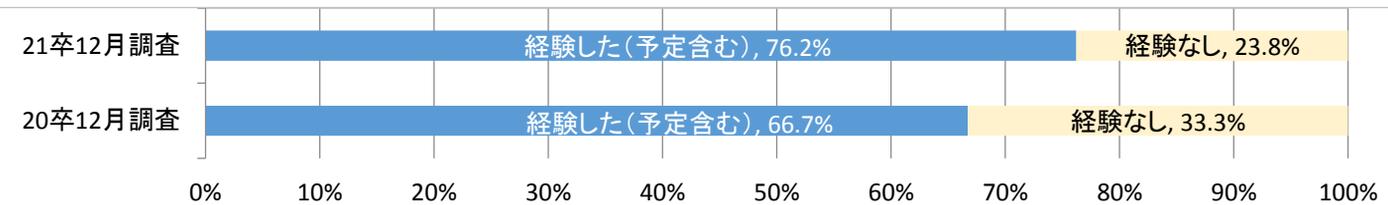
参加の理由は「就職活動に有利だと思った」(61.8%)、「志望業界だった」(57.4%)の2項目が過半数を超えた。

不参加の学生は21.6%と、さらに少数派となった。

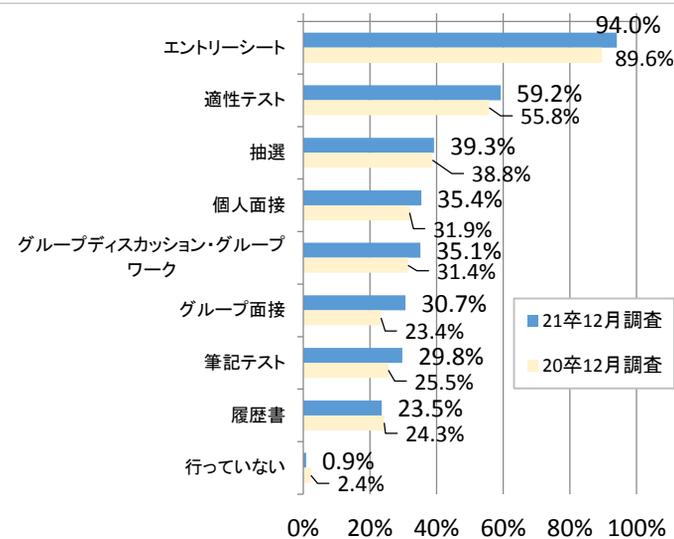
不参加の理由で「日程が合わなかった」が最も高いのは昨年同様だが、「選考・抽選に漏れた」は減少した。

インターンシップ選考

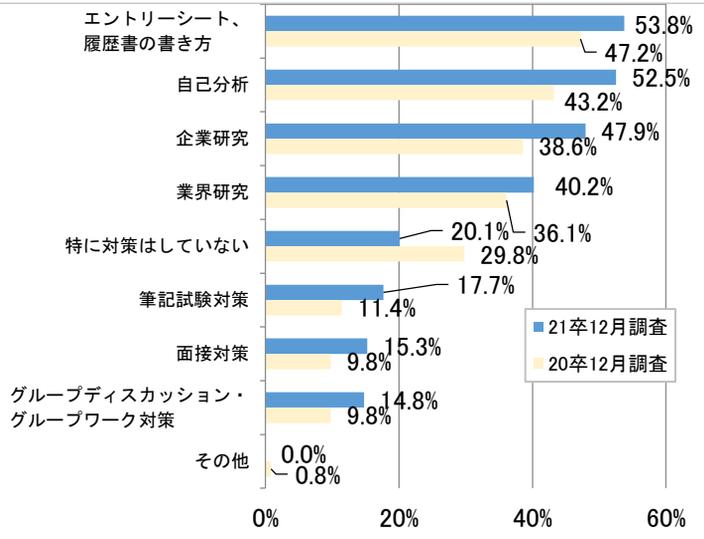
◆インターンシップ参加のための選考は経験しましたか？



◆それはどのような選考でしたか？（複数回答）



◆選考のためにどのような対策を行いましたか？（複数回答）

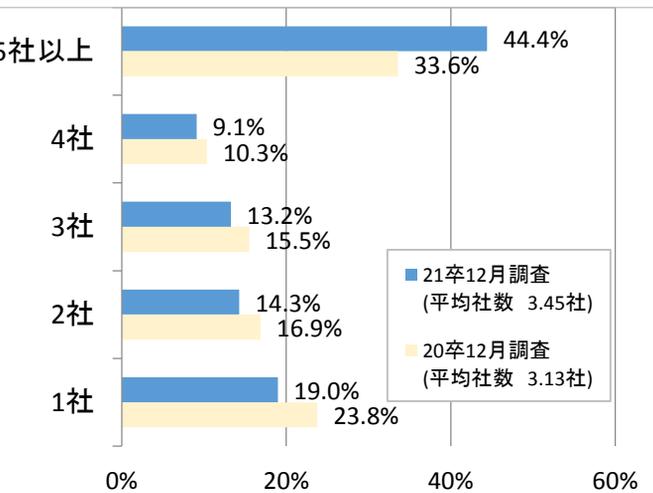


インターンシップの選考経験者は76.2%、昨年の66.7%よりおよそ10ポイントも上昇。

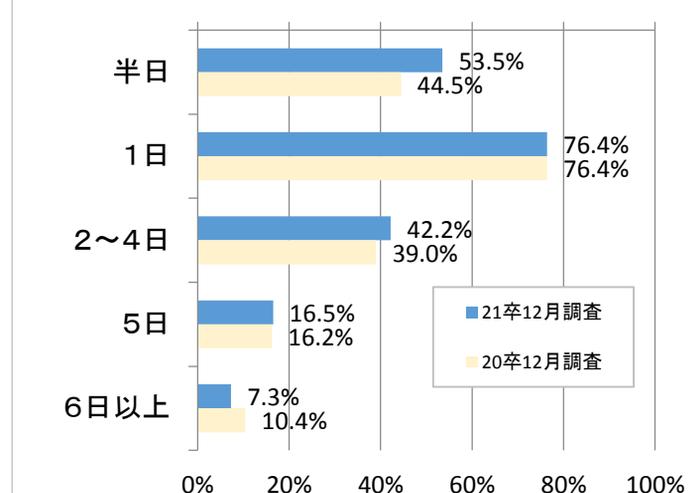
インターンシップ参加のための選考は76.2%が「経験した(予定含む)」と回答、66.7%(20卒)より9.5ポイント上昇。選考の内容は「エントリーシート」(94.0%)がトップ。選考対策では「自己分析」(20卒43.2%→21卒52.5%)と、「企業研究」(20卒38.6%→21卒47.9%)がそれぞれ9.3ポイント上昇した一方、「特に対策はしていない」学生は20卒29.8%→21卒20.1%と大きく減少した。学生はインターンシップ対策を例年より進めている様子が見えてくる。

インターンシップ参加社数、参加日数

◆インターンシップには何社参加しましたか？



◆インターンシップの参加日数を教えてください

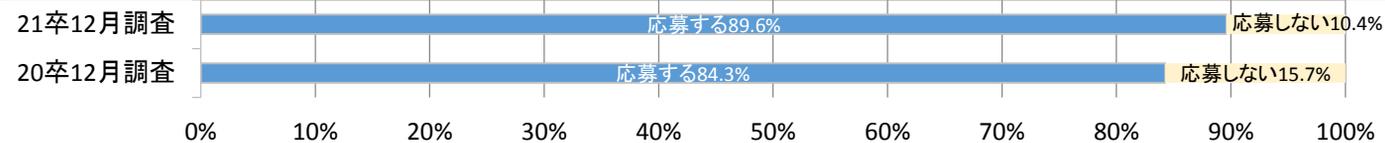


平均参加社数は3.45社、5社以上参加者が44.4%で4割を超える

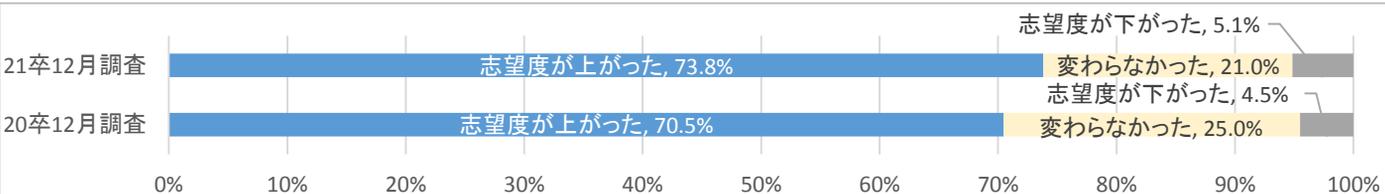
インターンシップへの参加社数は、1位が「5社以上」(44.4%)で昨年の33.6%より10.8ポイント増加した。平均参加社数は3.13社から3.45社と増加している。参加日数は「1日」(76.4%)がトップ、次に「半日」(53.5%)が多い。「半日」開催は昨年の44.5%より9.0ポイント上昇した。短期開催が増加し、平均参加社数も比例して増加したことがうかがえる。

就職活動観

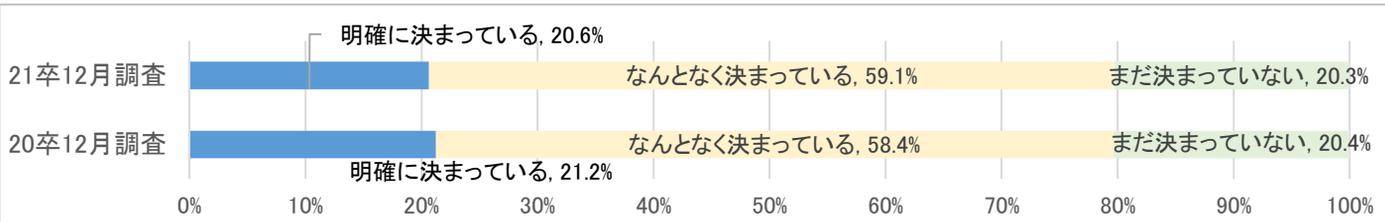
◆インターンシップに参加した企業の採用募集に応募しようと思いますか？



◆インターンシップに参加した企業の志望度に変化はありましたか？



◆志望業界は決定していますか？

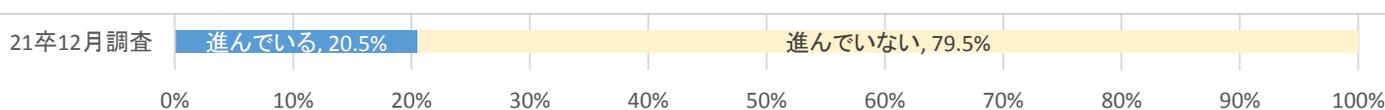


「インターンシップに参加した企業へ応募する」と回答したのは89.6%。
8割弱が志望業界について「明確に決まっている」「なんとなく決まっている」と回答。

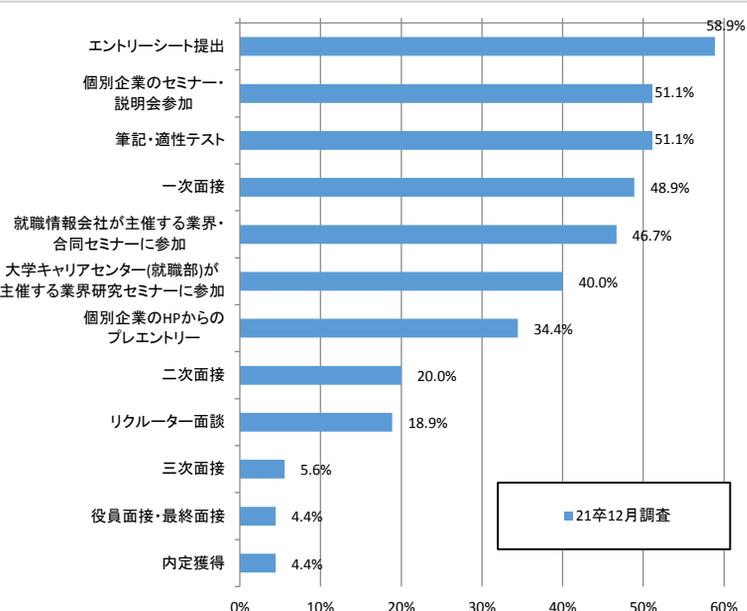
インターンシップに参加した企業の採用募集に「応募する」と答えたのは89.6%と9割近い数字になった。インターンシップに参加して「志望度が上がった」（73.8%）は今年の70.5%より3.3%上昇している。志望業界について「明確に決まっている」（20.6%）が今年の21.2%より0.6ポイント減少し、「なんとなく決まっている」（59.1%）が今年の58.4%より0.7ポイント上昇しており、学生の志望業界・企業を決定するのに影響していると思われる。

選考状況

◆企業の採用選考に進んでいますか？



◆現在の採用選考の進捗状況について、当てはまるものを選択してください。(複数回答)



「企業の採用選考に進んでいる」12月時点で20.5%と約5分の1、選考の進捗状況は「エントリーシート提出」がトップに

12月時点で企業の採用選考に「進んでいる」と回答した学生は20.5%となった。
また、採用選考の進捗状況は「エントリーシート提出」が58.9%でトップになった。次位には「個別企業のセミナー・説明会参加」と「筆記テスト」が51.1%となった。